

# 保護者会報

第41号(2009年7月20日)  
東海大学山形高等学校  
保護者会  
山形市蔵王成沢西3-4-5  
TEL(023)688-3022

## 子供達と学園の進化のために

東海大学山形高等学校保護者会会長 鈴木良彦



鈴木良彦会長

今年度、保護者会会長をお引き受けし、責任の重さを感じております。子供が一年生の時よりPTA(現保護者会)に関わらせて頂き、今年は大成の年でもあります。この二年間で学ばせて頂いた事を活かし、微力ながら子供達や学園のために努力してまいりたいと思います。

さて、昨今、少子化と経済不況の記事には枚挙に暇がありません。しかしこのような時代であっても子供達と学園が進化して行くためにまず保護者の方々のご支援が不可欠であります。特に今年度より名称が「保護者会」となりました事は学校任せではなく、今まで以上に「保護者のご協力を」という意味があると思います。具体的には、私学助成署名運動、私学大会、建学祭、市民講座・現代文明論、部活動への応援参加等があげられます。そしてそれらに参加する事で東海大学山形高

校の良さが実感されます。その良さを草の根的に中学生のいらっしゃるご家庭の方に伝えて頂きたいのであります。そうした小さな行動が必ずや学園の進化に繋がります。「マスコミ」の力も無論大きいのですが、地方の限られた地域での「口(くち)コミ」は、それ以上の力があると思います。また、先にも申し上げましたが、経済不況の煽りで就学困難な子供のために奨学金の具現化に協力して参りたいと思っております。詳細につきましては、まだ時間を頂戴しなければなりません。学校側と前向きに検討してゆきたいと考えております。

最後に、作家真田真音の作品の一節にこんなくだりがあります。「自分が幸せだと心から思えるような瞬間、人は誰しもそんな時を求めて生きていく。」  
子供達は青春真っ只中、そして自らの幸せに向かって迷いながらも精一杯生きております。先生方には、様々な個性の子供達に、これからお力添え頂きますようお願い申し上げます。様には活動の趣旨をご理解の上、今後一層のご協力をお願い申し上げます。

### 【紙面紹介】

- 1面 保護者会会長のことば  
プランター 植替え作業
- 2面 成田校長のことば  
【特集】
- 3面 部活動保護者会  
・吹奏楽部  
・男子陸上競技部
- 4面 建学祭バザー  
出品のお願い  
私学助成署名運動のお願い  
常任役員会の近況とお知らせ  
編集後記

## 今年もきれいに咲きました



綺麗に植えた花壇

六月十四日、環境班の保護者の方と保護者会会長、副会長、校長先生、教員二名の総勢十七名で、正門付近のプランターと、西門脇の花壇の花の植え替えをしました。

この活動は、「生徒や先生方が自然の花々を目にしながら、心和やかに明るく環境で勉強、スポーツに励んでもらいたい」という保護者の方々の願いから、昨年度より始まったものです。それまでは、少し殺風景だった正門付近も、今ではたいへん華やかになっていきます。

今年も、昨年に引き続き「花のひこうき」から先生を迎え、終始和やかな雰囲気の中、たくさん種類の花が植えられました。今年度は、プランターの数を増やし、正門から体育館・武道館前通路、そして、昇降口前にも並んでいます。また、新たに大きな円形プランターにも色鮮やかな草花を寄せ植え、希望の鐘の前にも飾られました。校舎の周りが年々華やかになっていくようです。生徒たちは、花を見ながら毎日元気に登校しています。

なお、花への水かけは、生徒、教員に加えて、今年の三月に卒業した松本幸さんのおばあ様がしてくださっています。ご近所にお住まいで、水やりのためにほぼ毎日学校まで足を運んでいただいております。生徒、教員一同、感謝しております。

来校された際には、きれいな花々をぜひご覧ください。



色とりどりの花を前に指導を受ける保護者

# 輝き

東海大学山形高等学校

校長 成田

吏つかさ



成田吏校長先生

「輝き」という言葉は、私たちの心の様子を表すときは「素敵」な状態に置かれているときに使われるようです。

人生において「輝く」瞬間は何度あるのでしょうか。きつと、区切り目の時は本人も、他人から見ても「輝いて」見えるものと思います。たとえば、誕生、入園式、卒園式、小学校入学式、小学校卒業式、中学校入学式、中学校卒業式、高等学校入学式。

在校生諸君は、これまでの人生でこのような区切り目を通してきました。親として、保護者として、これらの区切り目の瞬間はどのように感じていましたでしょうか。きつと「輝いて」いたと思います。しかし、輝いていたのはその瞬間だけで、その中間の時間帯は、「苦勞」ばかりでした、という方々もおられると思います。でも、その苦勞があったからこそ、次の区切り目ではより一層「輝いて」見えたと思いたい。これは願いでしょか。

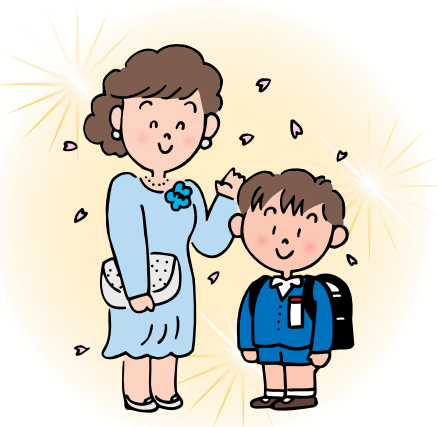
玉は古代より「美しく輝くもの」として、人類は崇拜して参りました。中国では特に「玉」への崇拜は高く、大事なものとして扱われていたようです。しかし、玉にも自然に輝くものと、磨きをかけることによってより一層輝くものがあります。でも、自然に輝いて見える玉も、それまでに自然現象による切磋琢磨によって磨かれていたのかもしれない。

これからの区切り目は、高等学校卒業、進学者は入学式、就職者は入社式、そして結婚式という最大の区切り目が待っています。

孫達の顔は何時も輝いて見えますが、それは「ジジの顔を見ているときだけ」かもしれません。それでも、輝いていれば、大変よろしい、ではありませんか。

とにかく、高校生諸君の未来はこれからです。大いに光り輝いて欲しいと思います。私たちは、それを、楽しみたいと思います。

人生で、一番輝く瞬間は、何時なのでしょう。皆さんは、何時を期待しますか。



## 【特集】部活動保護者会



第17回定期演奏会終了後の記念撮影

### 吹奏楽部

#### 未来へ響け 東海サウンド

吹奏楽部保護者会会長

吉田雅昭



吉田会長

吹奏楽部は、現在三年生が十四名、二年生が十名、そして一年生からなんと二十名もの入部があり、総勢四十四名で活動しております。新入部員は、一年生の一割以上が吹奏楽部で恐縮しているくらいです。しかし、本年より、大会での大編成人数制限が、五十名から五十五名に拡大しましたので、人数的には決して多いわけではありません。十人も人数が少ないと他校とは音量的にハンデはありますが、少人数でも良い音を出しハーモニイ勝負で頑張っております。その分全員が最初からレギュラー

と言ふことで、少しのんびりムードもあるようですが…。  
実績としては、十二年連続県大会出場（今年もシードのため十三回目確定）、東北大会も六回の出場となり、昨年は銀賞受賞と目覚ましい進化を遂げつつあります。それ以外にも、各種コンクールの出場や、定期演奏会、クリスマスコンサート等、毎月のようにイベントがあり多忙を極めております。また、学校内での式典等での演奏や、野球応援での演奏も今やおなじみとなっております。

本年も六月二十一日に第十七回定期演奏会が山形テルサで行われ、ご参加いただいた皆様、趣向を凝らしたステージと感動の東海サウンドを披露しております。続いての地区大会や県大会、そして東北大会に向けて日々練習の毎日です。また、どこの吹奏楽部員も出場を悲願として、吹奏楽部の甲子園とも言える全国大会「普門館」での演奏を目指し頑張っているところ

です。  
更に、八月二十二日（土）には、昨年から引き続き大好評だった兄弟校の高輪台高校吹奏楽部（左ページ上へ）

とのコラボレーションによる合同演奏会が山形県民会館にて開催されました。昨年ご覧頂いた皆様からは、「感動した。」「素晴らしかった。」「高レベルを超えている。」「など、いまだにお褒めを頂戴します。これから開催されますので、是非チケットを入手して、一人でも多くの方にご覧頂きたいと願っております。最高のエンターテイメントをお届けします。

さて、保護者会としての役割は、何といっても「一番のファンクラブである。」「ことだと思えます。部員の中には、小学校からマーチング経験や、実績のある中学校出身の子から、音符も読めない音楽初心者まで、多様です。普段の部活や合宿の話や、多くと、お互いに教えあったり、経験者が初心者真剣に教えたり、ほほえましい光景もあるようです。そこで、親としては、自分

の子供関係なく、まずは自分自身が東海サウンドを好きになり、実際に生の演奏を聴くことにより、子供たちの成長を耳と全身で感じることが大切だと思います。紙面にすべきことではないかもしれませんが、一年生を迎えてすぐの五月の合宿での音は、実は聴くに堪えない(失礼)レベルです。毎年、これで大丈夫か?と思ってしまう。しかし、その後の定演、地区大会、そして県大会と進むにつれ、音の響きとピッチがまったく別物になります。昨年の東北大会では、まったく違うバンドが演奏していると鳥肌が立つくらいに、本当に素晴らしく進

化します。

ただ単純に良い音を出すだけではなく、部員同士が心から信頼しあい、心から演奏を楽しむことができます。それは、最高の演奏ができます。それが、聴く人の感動を生むのでしょうか。それらの、一挙手一投足をできるだけ手や口を出さずに「見守り、裏方に徹する」ことが、ファンクラブでいることと確信しております。

そして、今までの先輩方が、創り上げ、引き継いできた伝統と言っても良い「東海サウンド」をこれからも応援し、子供が卒業してもファンクラブであり続けたいと思っております。皆様も、是非、機会を見つけて、東海大学山形高等学校吹奏楽部の「パフォーマンス」をお聴きください。

東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部  
**2009合同演奏会in山形**  
 東海大学山形高等学校吹奏楽部  
 日時/2009年8月22日(土) 開演14:00 会場/山形県民会館  
 入場料/ 一般 ¥1,200(前売 ¥1,000) 中・高校生 ¥800(前売 ¥600)



8月22日開催です。皆様のご来場、心よりお待ちしております!

**男子陸上競技部**  
 絆  
 男子陸上競技部父母の会会長  
**草刈忠義**



草刈会長

常日頃監督、コーチ、スタッフの方々からのご指導、そして父母の会の皆様には多大なる御支援、御協力を頂き深く感謝しております。

さて近況と言えば、県高校総体を勝ち抜いた九名の選手。インターハイ出場をかけた福島県営あづま陸上競技場で行われた東北高校総体(六月十二日、十五日)に出場して来ました。私は十五日、最終日の三千m障害決勝の応援だけでしたが、とても晴れやかな気持ちで帰って来る事が出来ました。結果は自己ベストタイム、体調万全ではない状態で六位入賞のインターハイ出場権獲得。その喜びもさることながら、ゴール後の村山君は全力を出し切り足の震えが止まらない状態の中、スタンドで応援してくれていた仲間達の前まで行き何度も頭を下げていた。その光景がとても爽やかでした。感謝、そして仲間を思いやる気持ちを持ち、粘り強く目標に向かって挑戦し続ける。田宮監督の教えが絵に描いた様な場面だったように思います。

五月九日、新入部員を含めた部員全員から今年にかける思いと題した決意表明。それから約一ヶ月半が経ちました。中でも二、三年生のほとんどが個人の目標の後に、駅伝にか



インターハイ出場を決めた東北大会でのレース(村山佳悟君6位入賞)

ける強い思いをのべたのが印象的でした。陸上競技は典型的な個人競技ですが、スタートからゴールまでつなぐ襷、駅伝には他に例えようのない連帯感を感じます。先輩方の残した足跡をしっかりと見つめている証だと思っております。森谷キャプテンを中心に二年連続、九度目の全国都大路を走ることはもちろん、全国の舞台で更なる上位を目指して頑張りたいものです。東海大山形男子陸上競技部父母の会は一丸となって支援していきます。



▲西蔵王高原野菜が魅力的!!

# 建学祭バザー出品大募集!!

## ご自慢のハンドメイド品や日用品などetc...

保護者会では、毎年、建学祭の一般公開日に、生徒昇降口前のスペースをお借りして、「バザー」を開催します。各家庭で不要になった品物を寄贈していただき、バザーの収益金は、教育環境の充実のために、毎年積み立てさせていただいております。今年も是非、皆様に品物の提供をお願いいたします。新しいものなら、タオル、衣類、日用品、丹誠込めた自慢のお野菜など、何でも結構ですのでご出品下さい。三者面談時または担任の家庭訪問時などを通じて学校までお寄せ下さい。

なお、今年の建学祭は10月17日(土)になります。

# 私学助成署名運動・私学大会参加のお願い

私立学校では、すべての子どもたちが経済的な心配をせずに進学したい学校を選び、安心して学べる教育機関をつくるために、毎年私学助成運動を実施しています。

「私学助成」とは、国や都道府県が私立学校やその学校に通う生徒の保護者に行う金銭的補助制度のことです。現状としては十分な保障は得られておりません。結果として保護者に多大な経済的負担が強いられており、それは公立と比べて約五倍にもなっています。その負担軽減のために私学の教育改善のために補助金を増やしてもらうことが必要です。

このような私学の生徒や保護者の声を県や県民に伝えるために、山形県では毎年「山形県私学大会」が開催されています。昨年度からは各PTA連合会も主催団体に加わり、保護者の皆様にも大きな力を寄せていただきました。昨年参加された保護者の方からは「私学助成をはじめ、私学の置かれ

ている状況が分かった。」  
「国や県からの補助が公立と比べてこれほどの差があるとは思わなかった。」  
「私学振興への関心の高さを感じた。」などの感想をいただきました。

今年度は十月四日(日)、午後一時より、山形市民会館にて行われる予定です。お忙しい中とは思いますが、この大会を盛大で意義のある大会とするために、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

なお、私学助成の署名用紙は、夏休み中の家庭

訪問や三者面談の際に担任の先生より配布されます。多数の署名集約にご協力をお願いいたします。



▲街頭での署名活動

## 常任役員会の近況とお知らせ

本校には、保護者会組織の中に「常任役員会」があります。ここでは、会長、副会長(各学年の委員長)、各学年の副委員長と各専門部長の合計九名で、保護者会活動や学校行事への協力体制などについて意見交換を行っています。今年度はこれまで三回の会議が行われ、今後は九月、十二月、三月に予定されています。今年度は、例年の活動に加えて、オープンスクールなどの行事にも何か協力できることはないか、現在模索中です。様々な活動に関して、ご意見、アイデアなどがありましたら、ぜひお寄せください。今後とも、ご協力くださいますようお願いいたします。

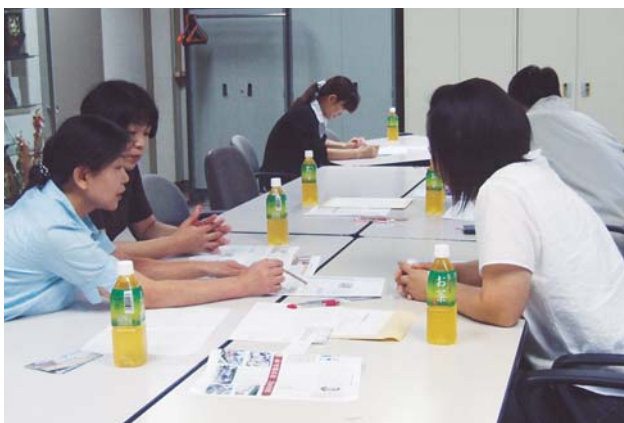
## 編集後記

息子も高校三年生になり、私にとつては最後の保護者会活動になります。息子にはハラハラしたり、叱ったり励ましたりの連続でしたが、ふとそんな息子のお陰で私の方が色々な勉強をさせてもらい、随分楽しませてもらっていったんだなあと感じてしまっています。あと少し、毎日同じ様な拙いお弁当ですが、そんな思いを感じながら作っていくと思っています。

この広報誌に原稿を寄せて下さった方々、ご協力頂いた方々に深く感謝申し上げます。又、多くの保護者の皆様に読んで頂き、ご意見やご要望などお聞かせ願えれば幸いです。

環境広報部広報班長

梅津 朋子



「みんな読んでくれるといいねえ」